

施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	くらし分野	担当課	建設課・水道課・市民生活課			
	政策分野	社会基盤・環境	課長名	奥村裕昭・高橋英樹・上妻誠一			
	施策	1 快適な生活環境の整備		重点施策の該当	R6	-	R7
施策の目的	対象	市民、来訪者	意図	環境に負荷が少なく、便利で快適な生活を送ることができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標
住みよいまちと感じている人の割合(%)	73.1	70.7	75.8	68.8	67.2 (75.5)	(75.8)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
88.1	39.1	86.4	36.7	88.2	35.5	87.3	33.2		
重要度DI	満足度DI								
86.0	13.4	83.2	11.0	85.3	4.3	84.4	4.9		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標
住環境の整備		住んでいる住宅に不便を感じている人の割合(%)	10.1	12.5	12.2	12.8	12.6 (10.3)	(10.3)
住環境の整備		住宅改修工事補助金交付件数(件)	-	3	29	15	12 (21)	(21)
水の安定供給		有収率(%)	78.58	78.54	78.57	78.61	78.66 (78.65)	(78.70)
水の安定供給		累積欠損金(千円)	196,472	166,132	123,574	59,323	2,900 (55,059)	(0)
道路整備の充実		市道改良率(%)	59.8	59.8	59.8	59.8	59.82 (59.8)	(59.9)
港湾整備の充実		維持管理行動計画における補修対象施設数(施設)	-	-	40	39	37 (38)	(37)
地域特性を生かした景観づくり		あっぱ～らんどの利用者数(人)	29,660	30,707	27,887	26,219	24,604 (41,000)	(41,500)
地域特性を生かした景観づくり		都市公園利用者数(人)	33,450	33,280	32,660	31,730	31,280 (33,000)	(33,500)
環境衛生対策の推進		合併処理浄化槽の年間設置基数(基)	70	60	57	59	46 (70)	(70)
環境衛生対策の推進		火葬設備のトラブル件数(件)	0	0	0	0	0 (0)	(0)
自然環境の保全		海岸漂着物の回収量(t)	51	54	47	39	28 (45)	(45)
適正な廃棄物処理		一般廃棄物の処理量(t)	4,427	4,326	4,351	4,468	4352 (4,500)	(4,500)
適正な廃棄物処理		不法投棄禁止看板の配布数(枚)	40	36	25	19	12 (20)	(20)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	・馬毛島基地工事の影響等により、本市の生活基盤を取り巻く状況にも変化が見られる中、既存施設の老朽化や災害意識の高まり等を背景とした社会資本整備要望は依然多く、緊急性や優先度、費用対効果等に基づく迅速な取組及び適正な維持管理が求められている。
[水道課] 基本事業No.2	・馬毛島基地(仮称)工事関係者の増加で料金収入は増加している。一方で施設の老朽化が進み更新が必要となっており、道路改良に伴う配水管の布設替えや補助事業により老朽管の更新事業を計画的に行っている。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	・合併処理浄化槽の年間設置基数は減少傾向にあり、生活排水処理基本計画において、合併処理浄化槽の新規設置数を年間70基と定めた。 ・令和6年度末の汚水処理人口普及率は73.4%である。 ・自然環境の保全への取組として、ビーチクリーン(市民一斉海岸清掃)を海の日を実施するとともに、通年を通して、市内の海岸線において海岸漂着物の回収を行った。 ・一般廃棄物の処理量が前年度と比較して、約2.6%減少した。

施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等長寿命化計画並びに鴨女町団地建替基本計画に基づく、開発行為工事及び本体工事に着手した。 ・都市公園(新城公園)において、バリアフリー対応とした便所の改築を行い、あっぱ～らんどについては、備品購入(ゴーカート)屋根付き競技場のネット設置を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事着手に伴い工事費の高騰や作業員の確保が難しくなってきた。 ・老朽化やバリアフリー未対応等の住宅についての計画的な改修等の検討及び措置が必要である。 ・あっぱ～らんどや都市公園では、指定管理者やまちづくり公社と連携の取れた維持管理水準が求められている。
[水道課] 基本事業No.2	<ul style="list-style-type: none"> ・収入に対して支出が低く、結果黒字が続いているため累積欠損金の低減につながっている。 ・生活基盤施設耐震化等交付金事業により老朽管の更新や道路改良工事に伴う配水管の布設替えを計画的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管路全体の更新率は低い状況にあり、耐震化を含めた施設整備を計画的に実施する必要がある。
[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽の設置支援を行っており、令和6年度末の汚水処理人口普及率が前年度より2.64%増加した。 ・自然環境の保全への取組として、ビーチクリーン(市民一斉海岸清掃)を海の日に実施するとともに、通年を通して、市内の海岸線において海岸漂着物の回収を行った。 ・一般廃棄物の処理量が前年度と比較して、約2.6%減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物については、大半が市外で発生したものであると考えられるため、市内での発生抑制対策により漂着物を減少させるのは困難である。 ・馬毛島基地工事に伴い、作業員が増加しているが、一般廃棄物の排出量はほぼ横ばいの状況である。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[建設課] 基本事業No.1・3・4・5	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備事業(交付金)や再編交付金等を活用して、公営住宅や道路・橋梁、港湾漁港、公園施設等の整備を進めながら、長寿命化を見据えた持続可能な移設の維持や管理コストの縮減に努める。
継続・現状維持	[水道課] 基本事業No.2	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の料金収入は増加傾向にある一方で、施設の老朽化が進み更新が必要な施設が増加していくため、継続した経営の安定に取り組みながら、計画的な施設整備を行い有収率や耐震化率の向上を図る。
継続・現状維持	[市民生活課] 基本事業No.6・7・8	<ul style="list-style-type: none"> ・馬毛島基地工事に伴う作業員等の宿舍であるコンテナハウス等から排出される浄化槽汚泥量について、排出量や排出時期等の把握が困難なため、関係機関や収集業者等と連携しながら、情報の収集を行うとともに、状況に応じた対応に努めていきたい。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)	
継続・現状維持	【産業振興部会】	施策担当課の記載する方向性のとおり。
継続・現状維持	【市民福祉部会】	施策担当課の記載する方向性のとおり。